

# 製品安全データシート

TSラスタール 1頁/3頁

MSDS 整理番号：27920917-2

1. 化学物質及び会社情報

作成年月日：2002年9月17日

製品名（化学名、商品名）：

## TSラスタール

### 製造者情報

会社名；株式会社 トータルサービス

住 所；〒163-0236 新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 3 6F

電 話；03（5325）1711

担当部署 パートナーサポート事業部

### 2. 組成、成分情報

- ・製品区別 ; 混合物
- ・化学名又は慣用名 ; TSラスタール
- ・含有量(%) ; アルミナ25 グルセリン42 ベントナイト5 界面活性剤2.5 水25.5
- ・化学式又は構造式 ;  $Al_2O_3$   $C_3H_8O_3$   $Al_2(SiO_3)_3 \cdot nH_2O$
- ・官報公示整理番号 ; 対象外 2-0242 対象外
- ・CAS No. ; 1344-28-1 56-81-5 1302-78-9

### 3. 危険有害性の要約

- ・分類名称 ; 該当せず
- ・危険性 ; 発火性、爆発性はない。
- ・有害性 ; 腐食性はない
- ・環境への影響 ; 殆どない

### 4. 応急措置

- ・目に入った場合 ; 直ちに多量の綺麗な流水で15分以上洗眼する、目を擦らないようにしなるべく速やかに眼科医の手当を受けさせる。
- ・皮膚に付いた場合 ; 汚れた衣類等をすぐに脱がせ、多量の水（ぬるま湯）と石鹸で、付着した部分を十分に洗い流して下さい。
- ・吸入した場合 ;
- ・飲み込んだ場合 ; 水かぬるま湯で口を濯ぎ、水、又は、牛乳を飲ませて下さい。  
※以上、いかなる場合に於いても、直ちに医師に連絡して、必ず診断を受けて下さい。

### 5. 火災時の措置

- ・初期対応 ; 本品は不燃性のものですが人を直ちに風上の安全な場所へ避難させ、火災現場へはむやみに立ち入らせないで下さい。
- ・消火方法 ; 初期消火を行う場合、必ず防護服、自給式呼吸器等の安全装備を着用して、風上より作業を行って下さい。火炎に曝されている物の周辺及び容器等に散水して冷却する。
- ・消火剤 ; 水、粉末、炭酸ガス、泡、砂、等

### 6. 漏出時の措置

- ・出来るだけ回収する。その後多量の水にて洗い流します。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- ・必ず保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用して、出来る限り皮膚に触れない様に注意して作業して下さい。
- ・取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔の洗浄等を十分に行い、衣服等に付着した場合には直ちに着替えてください。尚、汚れた衣類等は必ず洗濯してから再着用して下さい。
- ・取扱い作業では、漏溢、飛散などに注意して下さい。
- ・容器は転倒したり、落下したり、衝撃を加えたり、引き擦ったり粗暴な取扱いをしないで下さい。
- ・指定された材料や物品以外の物とは、絶対に混合しないで下さい。

#### 保管

- ・保管は出来るだけ涼しく直射日光の当たらない一定の場所を定めて、完全にフタをして保管して下さい。

---

## 8. 曝露防止及び保護措置

### 濃度と許容濃度

[管理濃度] 設定されていない

[許容濃度] 設定されていない

- ・設備対策；取扱所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設けるのが望ましい。
- ・保護具； [呼吸用] マスク  
[顔面用] 保護眼鏡（飛散防止型、ゴーグル型）、顔面シールドなど  
[皮膚用] 保護手袋

---

## 9. 物理的及び化学的性質

- ・外観等； 灰白色ペースト状 溶解度； [水] に分散
- ・臭気； 殆ど無臭
- ・蒸気圧； データなし
- ・引火点； なし
- ・比重； 1.40～1.45（20℃）
- ・pH 9.5～10.0

---

## 10. 安定性及び反応性

- ・爆発性； 適正な保存条件下では安定。
- ・反応性； 適正な保存条件下では安定。
- ・安定性； 通常状態では安定である。
- ・分解生成物； 情報なし。

---

## 11. 有害性情報

- ・皮膚腐食性； なし
- ・刺激性； なし
- ・感作性； 有用な情報なし
- ・急性毒性； データなし
- ・慢性毒性； データなし
- ・発がん性； 有用な情報なし
- ・変異原性； 有用な情報なし
- ・生殖毒性； 有用な情報なし
- ・催奇形性； 知見なし
- ・代謝排泄性； 知見なし

---

## 12. 環境影響情報

- ・分解性； 生分解性良
- ・蓄積性； 有用な情報なし
- ・魚毒性； 有用な情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

- ・本品を水に分散させ、ろ過した後多量の水にて希釈し放流する。少量の沈殿物は埋立処理する。多量の場合は産業廃棄物処理法に基づき所定の手続きを踏まえた上で専門の処理業者に委託して廃棄処理して下さい。

---

## 14. 輸送上の注意

- ・分類； 該当せず
- ・輸送； [容器表示] 品名、数量、注意事項など必要事項を表示して下さい  
[積載方法] 強酸類、等災害発生の恐れのある物品との混載は避けて下さい。  
[その他] 運搬に際しては容器の漏れのないことを確認し、落下、転倒、衝突を避けて下さい

## 15. 適用法令

- ・ 消 防 法 ; 該当せず
- ・ 労働安全衛生法 ; 該当せず
- ・ 船舶安全法 ; 該当せず
- ・ 航 空 法 ; 該当せず
- ・ 毒物劇物取締法 ; 該当せず
- ・ 海洋汚染防止法 ; 該当せず
- ・ 化学物質管理促進法 ; 該当せず

## 16. その他の情報（参考文献）

- ・化学工業日報社 ; 13599の化学商品、化学品別 適用法規総覧  
国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版 第1集、第2集、第3集、第4集、  
新化学インデックス（2000年版）
- ・丸善株式会社 ; 危険物データブック [東京消防庁警防研究会監修]、ザックス有害物質データ  
ブック
- ・中央法規出版株式会社 ; 環境六法（平成4年版） [環境庁環境法令研究会編集]
- ・株式会社成山堂書店 ; 危険物船舶運送及び貯蔵規則並びに関係告示 [運輸省海上技術安全局監修]

## ※注 釈

- ・本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手出来た資料や文献の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に  
関しては、如何なる保証もなすものではありません。
- ・全ての化学製品には、未知の危険性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。本書には通常の  
危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証出  
来ません。
- ・記載事項は通常の実施を前提としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たな用途、用法に適  
した安全策を実施の上お取扱い願います。